

# 港湾振興便り



2016. 2

第105号

\*:

## 目 次

\*:

### 1 ポートエッセイ

ー人口問題への対応は総力戦でー

～日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭～

### 2 トピック

- 「国際バルク戦略港湾釧路港 着工記念式」開催

(釧路市 水産港湾空港部 港湾計画課)

- 『みなとオアシス和歌山』登録 ～県内初の登録で地域活性化の担い手に～

(近畿地方整備局 港湾空港部)

- 広島港廿日市地区標準LNG船ターミナル供用式典を開催

(中国地方整備局 広島港湾・空港整備事務所)

- 「訪日クルーズ旅客数100万人」達成記念式典を開催

(九州地方整備局 港湾空港部)

### 3 お知らせ

◇今治市港湾振興協会講演会

◇ 神戸みなとの知育楽座

◇ 客船フェスタ2016

◇ 富山湾シンポジウム

\*:

## 1 ポートエッセイ

### ー人口問題への対応は総力戦でー

～日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭～

\*:

総務省が昨年の人口移動報告を先月末に公表した。それによると東京圏(埼玉、千葉、東京、神奈川)は11万9,357人の転入超過で、前年比9,949人の増加だった。転入超過の拡大は4年連続というから、東京圏一極集中は加速している。

ほかに転入超過は愛知、大阪、福岡、沖縄の4府県だけで、残りの39道府県は転出超過だ。中でも北海道は8,862人の転出超過、兵庫県が7,409人で続き、私の暮らす新潟県は6,735人の転出超過となり、3番目の多さだった。

昨年10月に実施された国勢調査の結果も今月中に発表となる。おそらく多くの地域が人口減少の厳しい数字となるだろう。東京圏が膨張する中、日本列島全体では厳しい人口減少時代に突入している。

昨年実施された国勢調査の新潟県速報値が先日示された。2010年に237万4千人を超えていた人口が7万人近く減少して230万5千人余となった。1年で1万4千人程度減っていることになり、人口問題の対応は待ったなしの課題だ。

新潟市の速報値も最近示された。10年に81万1,901人だったものが、昨年には81万514人となり1,387人の減少だった。人口が減ったのは残念だったが救いもあった。その前の2005年国勢調査と10年の国勢調査比較では1,946人減少だったものが、今回の5年間では若干縮小されたからだ。

また、国立社会保障・人口問題研究所が2010年国勢調査を基に推計した2015年時点の将来人口の数字、80万925人と今回の速報値を比較すると、速報値が9,589人上回った。基本的に過去5年間の取り組みにより人口減に一定の歯止めを掛けることができたと考えている。

将来人口は取り組み次第で大きく変化するものだ、ということを市民にも伝えることができる材料ともなった。新潟市では昨年10月に「新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定したのに合わせ、「新潟市人口ビジョン」も作成した。新潟市の人口は国の予測を基に推計すると2040年には66万5千人台にまで減少する。

人口ビジョンでは社会増減を最近の社会増年間平均より1.5倍にした上で、2つのシミュレーションを示した。1つは合計特殊出生率を40年までに若者が希望する2.4に上げるもので、これだと40年の人口は74万2千人台と予測よりも7万7千人ほど増加する。2つ目は40年までに合計特殊出生率を国の目標に準じた2.07に回復させるもので、これでも72万6千人以上となる。要は取り組み次第で将来の人口は大きく変わることを知ってもらい、望まれる方が結婚され、望むだけの子どもを安心に産み育てられるよう、地域が総力を挙げる態勢をつくることだ。各地域での総力戦にしたい。

\*\*\*\*\*

## 2 トピック

\*\*\*\*\*

### ● 「国際バルク戦略港湾釧路港 着工記念式」開催

(釧路市 水産港湾空港部 港湾計画課)

国際バルク戦略港湾釧路港において整備中の国際物流ターミナルの岸壁本体部の着工を祝う記念式が、伊東良孝農林水産副大臣、佐藤英道農林水産大臣政務官、鈴木貴子衆議院議員など約130人が出席のもと、平成27年12月27日（日）に釧路市観光国際交流センターで行われました。

同ターミナルには、大型船での大量一括輸送による効率的な輸送体系の実現を目指し、とうもろこし等の飼料原料を満載した大型船の入港を可能とする岸壁（水深-14m）などが整備され、整備事業は平成29年度に完了を予定しています。

式典では、数土勉北海道開発局釧路開発建設部長と蝦名大也釧路市長が式辞を延べ、続いて、菊地身智雄国土交通省港湾局長からのご挨拶、また伊東農林水産副大臣、佐藤農林水産大臣政務官、鈴木衆議院議員からも祝辞を頂戴しました。

さらに、釧路農業協同組合連合会の石橋榮紀代表理事長より、本事業に対する期待についてお話しいただきました。

その後、蝦名市長から、国際物流ターミナルの完成後にターミナルの運営を行う釧路西港開発埠頭株式会社の米谷好晃代表取締役社長に事業認定書が手交されたほか、関係者代表と釧路子どもミュージカル「キッズロケット」の子供たちがぐす玉を割るセレモニーが行われ、着工を盛大に祝いました。



認定書手交

(左：蝦名釧路市長  
右：米谷 釧路西港開発埠頭株式会社代表取締役社長)

●『みなとオアシス和歌山』登録 ～県内初の登録で地域活性化の担い手に～

(近畿地方整備局 港湾空港部)

平成27年12月17日(木)に和歌山市の和歌山下津港一帯が「みなとオアシス和歌山」として登録されました。

「みなとオアシス」とは国土交通省が、みなとの施設やスペースを活用して住民参加型の地域振興の取り組みが行われる地域交流拠点を登録する制度で、活動の支援やPRなどを行っています。

和歌山県内では初めての登録となる「みなとオアシス和歌山」は、クルーズ船や徳島小松島港との定期フェリーが接岸する岸壁を有し、和歌山の海の玄関口として賑わう「水軒ゾーン」と、古くは万葉集にも詠まれ、文化財保護法により国の名勝にも指定されている和歌浦や和歌山マリーナシティ等が所在し、観光資源が集積する「和歌浦湾ゾーン」からなります。

登録証の交付にあたり、尾花正啓和歌山市長から「水軒・和歌浦湾の2つのゾーンを中心に港湾エリアの地域活性化並びに観光振興を図るとともに、クルーズ誘致、中央卸売市場・水軒公園の整備など具体的な事業も積極的に進めていきたい。」との挨拶があり、それに対し、池田薫近畿地方整備局副局長は「本日の登録を機に「みなとオアシス和歌山」が地域の交流拠点として、より一層の賑わいをもたらすことを期待するとともに、近畿地方整備局も積極的に協力していきます。」と述べました。

今後は、「みなとオアシス和歌山」が特色の異なる2つのゾーンの有する環境や資源を活かしながら、地域活性化の担い手としてこれまで以上に発展してことを祈念します。



池田副局長から尾花市長に登録証を授与



みなとオアシス和歌山 施設構成

## ●広島港廿日市地区標準LNG船ターミナル供用式典を開催

(中国地方整備局 広島港湾・空港整備事務所)

広島県廿日市市において、中国地方整備局及び広島ガス株式会社が世界標準型LNG船(17万 $\text{m}^3$ 級)を受入可能な港湾インフラ整備を平成24年度より行ってきましたが、この度整備完了したため、1月24日(日)に供用式典を開催しました。

供用式典では江島国土交通大臣政務官の挨拶があり、記念行事では初入港した標準LNG船Dwiputra(どらいぷとら)号の船長・機関長と広島ガス株式会社との記念品の交換、廿日市市立地御前(じごぜん)小学校児童による合唱等が行われました。

今回のターミナル整備によって、これまで以上に安定的・効率的な諸外国からのLNG輸入に対応することができるようになります。



## ●「訪日クルーズ旅客数100万人」達成記念式典を開催

(九州地方整備局 港湾空港部)

昨年12月8日(火)中国・上海から韓国・済州島経由で乗客3450人が乗ったイタリアの大手クルーズ会社が保有する「コスタ・セレーナ」(約11万4千トン)が福岡市の博多港に入港しました。

クルーズ船で1年間に日本を訪れた旅客数が同船の入港で100万人を突破したため「訪日クルーズ旅客数100万人」達成記念式典を開催しました。

国土交通省では「観光立国実現に向けたアクション・プログラム2015」に基づき、2020年の「クルーズ100万人時代」(※)の実現に向け、官民一体となった取り組みを進めてきたところ、我が国へクルーズ船で入国した外国人旅客数は、2013年は約17万4千人、2014年は約41万6千人と倍増ペースで推移し、2020年の目標であった100万人を大幅に前倒しての達成となりました。

2014年に115回だった博多港へのクルーズ船の寄港回数は、15年には倍以上の259回となり初の全国一となりました。今年もすでに400回以上の予約が入っています。

今後も、国土交通省はクルーズ振興を通じた地域活性化や観光立国の実現に向けて、取り組んでいきます。

※1年間にクルーズ船で入国する外国人旅客数100万人





\*:

### 3 お知らせ

\*:

#### ◇今治市港湾振興協会講演会

開催日時：平成28年2月25日（木）15：30～17：00

会場：今治市旭町 今治国際ホテル2F クリスタルホール

概要：「近年の国際交流」と題し日本通運株式会社執行役員井出憲文氏による講演会を開催する。

問合せ先：今治市港湾振興協会事務局 TEL0898-22-4120

#### ◇神戸みなとの知育楽座

開催日時：平成28年2月27日（土）14：00～15：30

会場：神戸市中央区波止場町 神戸海洋博物館

概要：「神戸のみなと・まち・歴史をもっと知ろう」をテーマに、「六甲、摩耶の観光開発歴史」と題し、前田康男摩耶登山マラソン実行委員会委員長による講演会を開催する。

問合せ先：NPO法人近畿みなとの達人(078-891-4561)

#### ◇客船フェスタ2016

開催日時：平成28年3月5日（土）10：00～15：00

会場：神戸市中央区新港町 神戸ポートターミナル

概要：外国客船「セブンシーズ・ボイジャー」の寄港に合わせ、客船の撮影を中心に活動される写真家の作品展や日本酒やスイーツなど神戸の名産を販売するブースが並び、港やクルーズに親しんでもらう。

問合せ先：神戸市客船誘致協議会事務局(078-322-5670)

